

# ままぱれ

『ままぱれ』とは、宮城県内各地で無料配布されている、子育て世代をターゲットにした月刊情報誌です。

この『ままぱれ』の2011年2月号から、

『宮城教育大学情報コーナー』を設けていただきました。

東北唯一の教員養成大学である本学で教鞭を執る教員の研究成果が、

育児や家庭教育に毎日奮闘する宮城の皆さまへの

ヒントになればという思いからです。

本冊子は、この『宮城教育大学情報コーナー』の2013年度分を抜粋してまとめたものです。

この特集号によって本学の研究活動への理解を

深めていただければ幸いです。

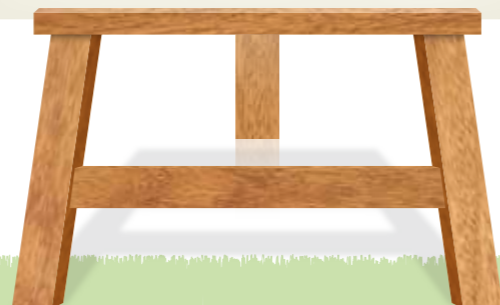


はぐくみ  
Hagukumi Palette  
パレット

※このパンフレットに掲載されている「所属」及び「役職」は掲載当時のものです。

## Contents

ご挨拶	1
ふるさとで、学び合い	2
一家に一人カウンセラー	4
今こそ「体調」を考える。	6
親子でHAPPYな夏休みづくりを	8
ちょっと難しい、だけど楽しい! 本当はおもしろい「ものづくり」	10
いつも心にアートを	12
実はおもしろい水の中の生き物	14
子どもと一緒に自然を学ぼう	16
身近なさまざまな障害とかかわり、わかりあう。	18
なにげないことに不思議を感じたとき、 それが“理科”の始まり	20
大事なのは、目の前の教科書より、 勉強したいと思わせる環境	22
子どもに一番必要なのは安心感。 ママが音を楽しめば、それが自然に教育になる。	24



## ご挨拶

宮城教育大学理事・副学長 中井 滋



宮城教育大学は東北における教育の中核大学です。教員養成大学ですので、これまでに多くの学校教育や社会教育に携わる職業人を世に送り出してきました。ところで、何だか難しい話になって恐縮ですが、教育って何でしょうか。皆さんはどんなものだと思いますか。教育に関する基本となる法律は教育基本法です。その教育基本法の第1条に「教育は、人格の完成を目指し・・・」と書かれています。人格とは何でしょうか。日本語大辞典によれば「人格とは、パーソナリティーともいい、知的、感情的、意志的側面をあわせた全体としての個体の特徴」と書かれています。そのことから、私なりに人格について考えてみると、次のように言えるのではないかと思います。つまり、人間がいろいろな知識や技術を習得し、情緒が安定して、他人に対する思いやりを持ち、いろいろなことを遂行する強い意志と行動力を持つことで、その人としての特徴を創りあげたものが人格といえるのではないのでしょうか。そして、その人格の完成を目指して働きかけるのが教育ということになるのだらうと思います。

教育には上から下への一方的な指導だけに終わるのではなく、人に寄り添い、人に共感し、人のやる気を引き出すような指導が必要となってきます。学校教育だけではなく、家庭教育でも、社会教育でも、職場教育でも、教育と名がつくものは、全部同じだと思います。相手を納得させて良い方向に行動を変えさせたいと思うのであれば、一方的に知識や技術を教え込むような指導だけではなく、常に、相手の気持ちを確かめ、何をどのように教えるか(伝えるか)、どのように褒め、あるいはどのように叱るかなど、自分の気持ちや感情を込めて、相手に何をどのように伝えていくかが重要になってきます。

宮城教育大学の教員は教育に関わるいろいろな領域の研究・教育を行っています。他の大学と比較すると、例えば義務教育におけるすべての教科に関わる教員がいること、また特別支援教育におけるすべての障害の領域に関わる教員がいることなどが特徴としてあげられます。大学教員は研究、授業あるいは会議の合間を活用して、各種研修会で講義をしたり、教育現場に出かけて行って、先生方の相談に応じたり、学校等への支援を行ったりしています。この度、宮城教育大学の教員が、各自の研究活動や教育活動に関する内容で『ままぱれ』のVol.48(2013.4)からVol.59(2014.3)に掲載させていただく機会を得ました。このままにするのはもったいないという思いから、特集号として一冊にまとめることにしました。教員の経験や思いが詰まっております。どうかご覧ください。